

■米国：カリフォルニア州、需要家の反発によりスマートメーター導入を保留

カリフォルニア州大手電力の PG&E 社が、需要家の反発によりスマートメーター導入を一時保留せざるを得ない状況に追い込まれていることが 2009 年 12 月 30 日付けの経済メディアで報じられた。苦情の原因は、スマートメーター導入後の大幅な電気料金の上昇である。同社は、料金上昇の原因は猛暑による電力消費の増加であり、スマートメーターによる計量は正確であったとの調査結果を発表した。しかし、一部の需要家がこれに反発し、訴訟問題にまで発展している。観測筋は、スマートメーターへの信頼性が低下すれば、スマートメーターの費用回収の妥当性が問われるのみならず、他州においてスマートメーター導入の見直しの動きが出てくるのではないかと懸念している。